



プレーパーク レポート

第17号

2023年10月
小鹿野町



ようやく外遊びのしやすい
季節になってきました！

遊んで生きていくこと！

まだ暑さも感じ、夏の気配が残る9月の開催についてレポートします。

9月24日の開催は、参加者は40名ほどと少人数でしたが、長期滞在の親子が多く、ほとんどの親子が一日遊んで過ごしていました。

リピーターが多かったということもあり、すでに「自分は今日のプレーパークでこんなこととして遊びたい！」というイメージを持ってきている子どもも多かったです。

虫網片手に虫捕りに繰り出す小学生たち、焚火では薪をどんどん入れて火力を上げる遊びに夢中になる子が多くいました。木工作も普段は人が多いと工具の使う順番待ちが発生することもあるのですが、今日は1人1人がじっくりとものづくりに集中してつくることができていました。

途中、以前に植えたサツマイモの生育状況を見ようという大人の呼びかけで体験農園に行ってサツマイモ掘り。しっかり育ったサツマイモを掘り当て、10月の芋掘が一層楽しみになりました。



遊びの様子

ロープでブランコを作りたいとのリクエストがあり、1人の小学生とプレーリーダーでブランコづくりが始まりました。

どの木につけようか、どんな形のブランコにしようか、などを試行錯誤しながら時間を経て仲間も増えていく中で、どんどんと形になっていきました。



焚火では粘土質の土を使って造形したものを焼く素焼き遊びも始まりました。

器、動物、サイコロ、泥団子など。みんなが好きな形を作っていました。中でも大人が本気で作っていた「鈴」は実際に音の鳴る渾身の作になっていました。

みんな真剣に楽しんでいる様子が見られました。



木工エリアでは竹を素材として使った工作が人気でした。

はじめはかなづちで竹を叩いて割るという遊びからスタートしていましたが、その後は武器にしたり、コップにしたりと加工する遊びに広がりました。

武器を作っていた流れから、竹の弓矢づくりに挑戦することが増えてきました。しなるような細長い竹をつくるのが難しく、短すぎたり、太すぎたり、なかなか子どもたちの想像している理想の弓なりの形にはなりませんでした。



何度かうまくいかないことを経験していく内に、子どもたちの中でこうすると良かったなど情報交換が始まりました。

親御さんたちも一緒になってサポートしながら徐々に少しは矢を飛ばせるものが1つ2つとできてきました。もちろん、飛ばなくても構えるだけで満足という子どももいました。

イメージしていたものを形にするって楽しいですね。

